

99.3%

65 歳以上の患者の入院早期の栄養ケアアセスメント実施割合

測定値の定義・計算方法

Outcome 分子：分母のうち入院 3 日目までに栄養ケアアセスメントが行われたことがカルテに記載された患者数

分母：当該月の65 歳以上の退院患者数

活動のきっかけ

入院早期に栄養リスクを評価し、適切な介入をすることで、在院日数の短縮や予後改善に繋がられる。

改善活動部門

- 栄養管理部

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
- 入院早期に診療状況や栄養状態・摂食嚥下機能に応じた栄養管理計画を策定し、適正な栄養管理に繋げることができた。 - 今年度より、48時間以内の介入にシステム変更を行った為、前年度よりさらに早期介入ができた。	- アセスメント実施割合はプロセス指標であるため、栄養管理計画実施後、入院中に栄養状態の維持・改善・低下防止に繋がられたことへのアウトカム指標を分析し栄養管理の質の向上を目指す必要がある。 - 栄養管理手順で入院3日以内の栄養アセスメントとしていたので、入院後48時間以内に介入できていない事例あり、実施率が低下しておりました。現在は栄養管理手順を「基本的に48時間以内に介入する」と改定したので、目標値の91%以上は達成しております。